

夕 建 管 第 38 号
平成 20 年 10 月 15 日

国土交通省道路局長 様

夕張市長 藤 倉



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

日頃から本市道路行政の推進に対して格別なご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

つきましては、先に依頼のありました、今後の道路行政についての意見・提案について、別紙のとおり回答させていただきますので、何とぞよろしくお取り計らい願います。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

北海道夕張市

- ・道路関連公益法人や道路整備関係の特別会計関連支出の無駄を徹底的に排除し、真に必要な道路の選定を政治力にとられない方法により行い、地方が必要とする道路整備や維持管理に要する財源を確保し、真に必要と認めた道路については、着実に整備を実施していただきたい。
- ・交通量のみで必要な道路か否かの判断は、北海道のように広域分散型の地域には適合しない場合が多いことから、地域間格差に柔軟に対応出来る制度の確立を検討していただきたい。
- ・立ち遅れている高規格幹線道路の整備や安全で安心な冬期交通の確保など、北海道の実情に十分配慮した道路整備が着実に推進出来るようにしていただきたい。

②-1 地域の現状と抱える課題

北海道夕張市

○現状

- ①全国的に高齢化が進む中、夕張市は高齢者の割合(43.9%)が全国一となっている。
- ②平成18年度以降急激な過疎化が進んでいる状況から、様々な方面に影響が出ている。
- ③夕張市の市街形成は南北に約35キロにわたって山間部に形成されていることから、南北をつなぐ幹線道路が1本しか無い状況である。

○課題

- ①高齢化が急速に進む中、高齢者にやさしい道路整備として、移動手段が公共交通機関を主として利用することが多い高齢者が安心して通行ができる歩道空間の整備として、バス停及び駅周辺のバリアフリー化・電線の地中化による電柱の撤去による歩行空間の拡大確保等の整備が必要と考えている。
- ②急激な過疎化の進行が、路線バスの減便を招き移動手段の少ない高齢者に負担が増加している中、乗り継ぎ時間の増加により、待ち時間中の利用可能なトイレの整備も必要な状況となっている。
トイレの利用は、自動車ユーザーにも必要であり、駐車場とともに整備が必要であると考えている。
- ③南北に広がる市街形成で、なおかつ、南北をつなぐ幹線道路が1本しかなく、80mm/24Hを超えると通行止めとなり、街を分断してしまう状況であることから、病院などの重要な拠点への交通の利便性、災害時の救援・救急・復旧活動に不可欠な緊急輸送道路でもあることから、道路改良による通行止め要因の撤廃が緊急を要する事項である。

②ー2 地域の目指すべき将来像

北海道夕張市

- ・恵まれた自然と共生する中で、環境を保全し、四季を通じて自然景観型の観光を目指す。
一方、夕張メロンを中心に農業基盤を安定させ、行政経費の効率化を図る上で、中長期的なスパンでコンパクトな街づくりを進める。住環境整備は財源も含め課題であるが、都市機能の集約、生活道路等のインフラの整備を着実に進める中で、暮らしやすく、安心・安全で活力ある街づくりを目指す。
- ・地方の自主性・裁量性を生かし、地域道路整備の様々な課題に対応することが出来る地方道路整備臨時交付金制度を継続し、さらに拡充を図ることにより、地域活力の再生が図られる。

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

北海道夕張市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
①地域活力の向上	①地方道路整備臨時交付金制度の継続、拡充	①地方の自主性・裁量性を生かし、地域道路整備の様々な課題に対応することが出来ることにより、地域環境の整備が進み、地域活力の向上が見込まれる。	
②交通安全対策・危機管理の強化	②道路整備事業及び土砂災害防止法等の柔軟な事業費の併用	②道路事業のみでは対応しきれない、地すべり地域の対応策として、土砂災害防止法等を併用して適用することにより、それぞれの事業費の軽減が図られ、早期の危険地帯解消へとつながる。	
③公共交通機関の活性化・再生	③計画的・戦略的に公共交通機関を適切に組み合わせる手法の確立	③公共交通機関の経営環境は自家用車の普及や過疎化等にもなって、非常に厳しい状況にあることから、需要や実情を踏まえて総合的に地域交通について検証し、鉄道・バス・タクシー等の交通手段を適切に組み合わせ、さらに、DMV等の新たな交通手段の実用化に向けた取り組みの推進を図ることにより、地域公共交通の活性化・再生を推進する。	